




猫の保護・管理

更新日：2021年06月24日

飼い主が自主的な管理を

 **飼育し、管理する動物が他人に危害を加えたり、迷惑を及ぼさないように適正に管理しなくてはなりません。**

ネコは犬と違い、法に基づく登録制度がありません。

また、行動がわかりにくいいため、犬よりもさらにきちんとした管理が要求されます。

例えば、犬は迷子になったときに鑑札を着けていれば飼い主を捜すのは容易ですが、ネコの場合は誰が飼っているかを見分けるのが非常に困難です。

そのため、首輪やリボンなどで特徴をつけておくことが有効な手段となります。

なお、ネコは屋外に出さなくても健康維持に十分な運動をとることができます。

動物の保護・管理・駆除

- [▶ 犬の保護・管理](#)
- [▶ 犬の登録手続きなど](#)
- [▶ 狂犬病予防注射](#)
- [▶ 猫の保護・管理](#)
- [▶ 猫の不妊・去勢手術補助金について](#)
- [▶ 犬や猫等が亡くなったら](#)
- [▶ コイの持ち出し禁止について](#)
- [▶ 野鳥の不審死について](#)
- [▶ アライグマのボランティア募集](#)

むやみな生殖行動の機会を減らし、周辺の方々にフンなどで被害を与えないよう、できるだけ屋外へ出さないですむような飼い方を工夫してみましょう。

子ネコを捨てないで

ネコを放し飼いにしていると意図せず子どもができてしまうことがあります。だからといって、生まれた子ネコをむやみに捨てて良いということにはなりません。小さくても命に違いはありません。

このようなことを防ぐためにメスに対しては不妊手術を、また、きっかけを作らないためにオスには去勢手術をそれぞれご検討ください。

捨て猫をなくすための対応策のひとつです。

注釈：町では不妊・去勢手術の費用に対して一部補助をしていますのでご利用ください。
助成対象は、町内か茅ヶ崎市内の動物病院で手術した場合となりますので、ご注意下さい。

➡ [猫の不妊・去勢手術補助金について](#)

野良猫へのエサやりは責任をもって

ネコが好きな人、嫌いな人、アレルギーがある人など様々な人がいますので、野良猫にエサを与えることで、ご近所トラブルに発展することがあります。

トラブルにならないよう、周辺の人たちに理解してもらえるように話し合いをしたり、トイレのしつけなどをし、迷惑にならないようにしましょう。

猫の適正管理活動を実施している町民ボランティアについて

糞尿被害や発情期の鳴き声による騒音被害等を防止するために、飼い主のいない猫（野良猫）を減らすための活動を実施している団体を紹介します。

➡ [神奈川県で実施している飼い主のいない猫の避妊手術又は去勢手術支援事業について](#)

➡ [ボランティア団体と協働で取り組む「寒川キャットプロジェクト」クラウドファンディング結果報告～ご支援ありがとうございました](#)

倉見ねこ倶楽部

倉見地区を中心に野良猫のTNRなど地域猫活動を行う団体です。

(注釈)TNRとは、Trap(トラップ)捕まえて、Neuter(ニューター)不妊去勢手術をして、Return(リターン)元の場所に戻すことを言います。

- ▣ [倉見ねこ倶楽部ホームページ](#)

その他の取り組み(どうぶつ基金の活用)

さくらねこTNRは猫や犬とヒトが幸せに優しく共生できる社会をめざす公益財団法人どうぶつ基金と寒川町の協働事業です。どうぶつ基金を活用し、ボランティア団体協力のもと、所有者不明猫の不妊去勢手術を実施しました。

公益財団法人どうぶつ基金は、動物の適正な飼育法の指導・動物愛護思想の普及等を行い、環境衛生の向上と思いやりのある地域社会の建設とに寄与することを目的とし、各種事業を行う団体です。

- ▣ [公益財団法人どうぶつ基金](#)